

No. 59

津地区の景況調査

平成23年下期実績と平成24年上期見通し
(平成24年1月調査)

津商工会議所・中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	7
3	売上の現状	9
4	利益状況	10
5	販売条件と仕入条件	11
6	設備投資	13
7	資金繰りの動向	13
8	借入の動向	15
9	借入予定と借入希望先	15
10	経営上の問題点	17
	調査票	19

I. 調査概要

1. 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営管理に役立つ資料を提供することを目的とする。
2. 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,206企業を対象に実施しました。
3. 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
4. 調査期間 平成24年1月4日～1月11日
5. 調査対象期間 平成23年7～12月実績と平成24年1～6月見通し
6. 回収集計数 回収集計数企業 358 (回収集計率 16.2%)
うち小規模企業 213
7. 調査機関 津商工会議所・中小企業相談所

D I -Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のD Iとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

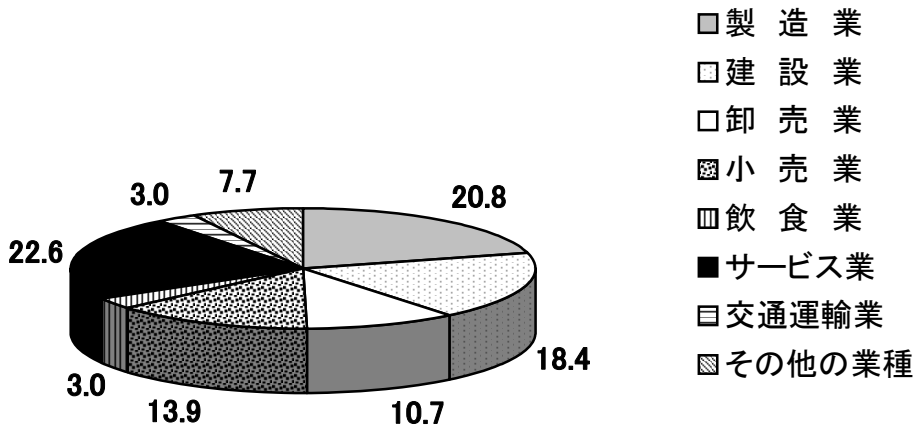
(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合があります。

回答状況

業種別回答比率

(単位：%)



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	計
全産業	163 45.5	103 28.8	47 13.1	14 3.9	28 7.8	358
製造業	28 35.4	16 20.3	19 24.1	6 7.6	10 12.7	79
建設業	39 58.2	23 34.3	2 3.0	0 0.0	2 3.0	67
卸売業	12 30.8	15 38.5	8 20.5	2 5.1	2 5.1	39
小売業	25 59.5	10 23.8	2 4.8	1 2.4	4 9.5	42
飲食業	3 50.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6
サービス業	49 55.1	26 29.2	7 7.9	2 2.2	3 3.4	89
交通運輸業	0 0.0	2 13.3	7 46.7	2 13.3	4 26.7	15
その他の業種	7 33.3	9 42.9	2 9.5	0 0.0	3 14.3	21

全 産 業 D I

	業況判断	売り上げ	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
24年1月～6月 見通し	△ 48.4	△ 36.0				△ 25.4
23年7月～12月 実績	△ 48.4	△ 29.0	△ 36.3	△ 30.7	△ 27.7	△ 21.3
23年1月～6月 実績	△ 48.6	△ 33.5	△ 37.1	△ 36.2	△ 33.8	△ 22.9
22年7月～12月 実績	△ 40.3	△ 22.7	△ 32.2	△ 28.1	△ 24.2	△ 19.6

産 業 別 D I (23年7～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	△ 40.5	△ 22.7	△ 27.8	△ 26.6	△ 34.2	△ 15.2
建 設 業	△ 55.2	△ 31.4	△ 46.2	△ 46.2	△ 29.8	△ 23.9
卸 売 業	△ 35.9	△ 7.8	△ 12.8	△ 15.4	△ 15.3	△ 10.2
小 売 業	△ 42.8	△ 38.1	△ 38.2	△ 33.3	△ 35.7	△ 21.4
飲 食 業	△ 83.3	△ 50.0	△ 66.6	△ 33.3	△ 16.7	△ 50.0
サービス業	△ 48.4	△ 34.9	△ 37.1	△ 28.2	△ 40.0	△ 28.1

Ⅱ. 調査結果

1. 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

※平成21年上期調査より対象企業を小規模企業からFAX登録されている全会員企業に拡大実施。

(1) 現況

全産業の業況判断DIは、今期実績値△48.4は前期△48.6と比べ、0.2ポイントの改善となっており、横ばいの数値を示している。前回調査時の予想値が△44.7であったことと比べると同程度に落ち着いた。小規模企業は△54.0となっており若干の悪化である。全体の業種別では小売業が16.8ポイント改善したほかは、微減・横ばい傾向を示している。小売業は昨年同時期の水準まで回復したことが伺える。小規模企業では、建設業が一昨年同期（21年7月～12月）の△69.8からは16.5ポイント改善している。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは△48.4と、今期の現状実績値△48.4と同数値であった。小規模企業では△48.4の見通しで5.6ポイントの改善が伺える。また小売業で20ポイントの悪化見通しを示しており、前回調査まで揺れ幅を伴いながら改善していた傾向が冷え込む見込みである。しかし、卸売業で△33.3と過去2年間の中で最も改善する見込みであり、小売業との関連から注目が集まる模様である。

表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			来期の見通し
	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月
全 産 業	△ 40.3	△ 48.6	△ 48.4	△ 48.4
	△ 47.8	△ 51.0	△ 54.0	△ 48.4
製 造 業	△ 33.0	△ 41.4	△ 40.5	△ 48.1
	△ 46.8	△ 59.1	△ 50.0	△ 49.9
建 設 業	△ 54.6	△ 48.4	△ 55.2	△ 53.8
	△ 52.5	△ 48.1	△ 53.3	△ 54.8
卸 売 業	△ 36.6	△ 44.4	△ 35.9	△ 28.1
	△ 41.7	△ 41.7	△ 41.7	△ 33.3
小 売 業	△ 41.9	△ 59.6	△ 42.8	△ 61.9
	△ 43.2	△ 59.2	△ 52.0	△ 72.0
飲 食 業	△ 66.6	△ 80.0	△ 83.3	△ 83.3
	△ 80.0	△ 85.7	△ 66.6	△ 66.6
サービス業	△ 35.1	△ 42.1	△ 48.4	△ 42.7
	△ 45.2	△ 40.5	△ 55.2	△ 32.6

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実績			来期の見通し
	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業				
飲食業				
サービス業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

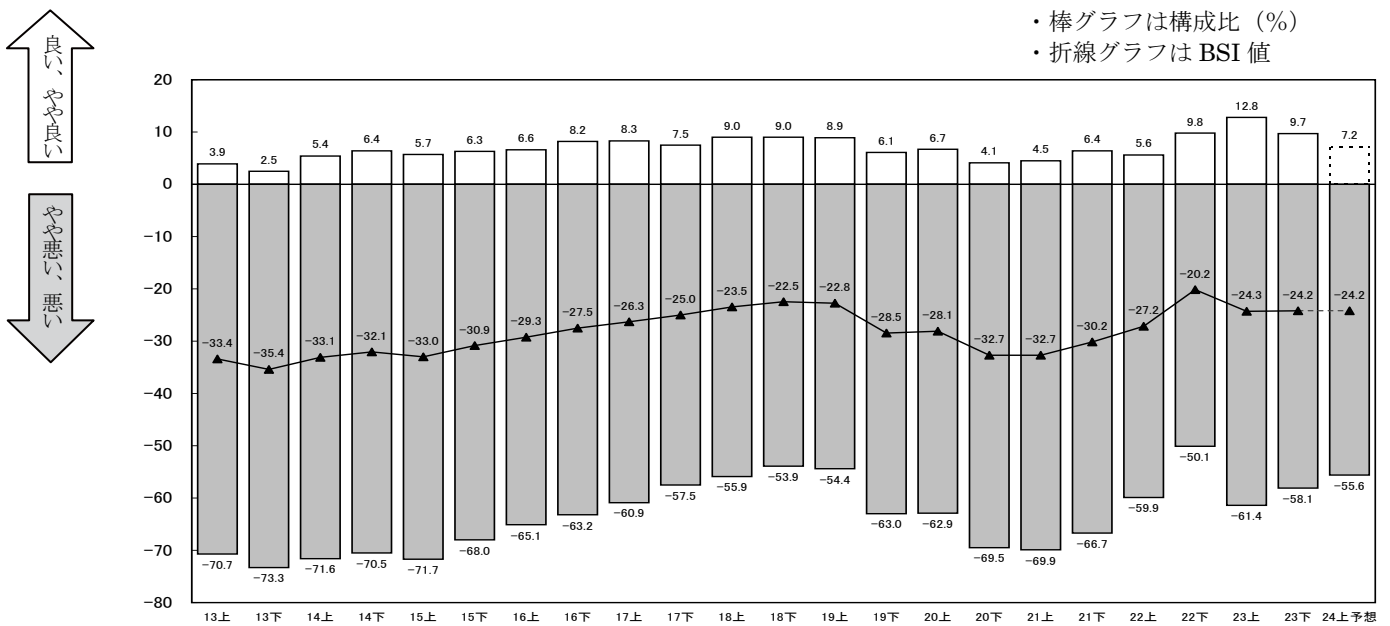
※表内の景気天気図は各期ごとのD I 値により表示
 快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



景気判断 D I

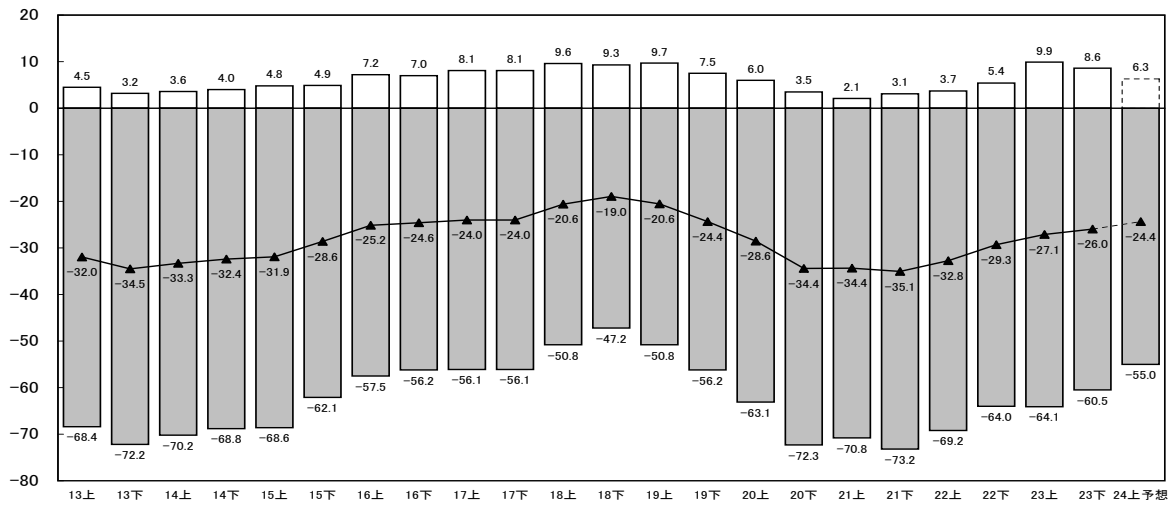
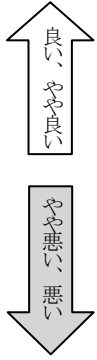
50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
 50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

図－1 津地区の経営の現状と見通し



図－２ 三重県下の経営現状と見通し

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフは BSI 値



2. 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上DIは今期△29.0、前期△33.5と比べ4.5ポイントの改善となった。前回調査で10.8ポイント悪化したことから、揺り戻しがあったものと思われる。業種別で見るとほぼ全業種で回復となっているが、昨年同期までの回復へは至っていない。また回復幅にばらつきが見られる。中でも卸売業では△7.8とリーマンショック以降最も高い回復を示している。小規模企業でも卸売業は大きく改善しており、25.0ポイント改善となった。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断DIは△36.0、今期の現状実績値△29.0と比べ7.0ポイントのマイナス幅増加となった。業種別では、卸売業が見通し△17.9と今回調査で大きく回復したことによる反動を見通しているが深刻な数値ではない。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			今後の見通し
	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月
全 産 業	△ 22.7 △ 35.8	△ 33.5 △ 41.0	△ 29.0 △ 35.1	△ 36.0 △ 43.2
製 造 業	△ 17.5 △ 35.0	△ 14.4 △ 51.3	△ 22.7 △ 27.3	△ 27.8 △ 38.6
建 設 業	△ 29.6 △ 33.4	△ 38.8 △ 31.4	△ 31.4 △ 32.3	△ 40.3 △ 41.9
卸 売 業	△ 19.5 △ 33.3	△ 33.3 △ 25.0	△ 7.8 0.0	△ 17.9 △ 41.7
小 売 業	△ 20.0 △ 32.4	△ 48.9 △ 55.5	△ 38.1 △ 40.0	△ 42.8 △ 52.0
飲 食 業	△ 22.2 △ 80.0	△ 60.0 △ 71.5	△ 50.0 △ 33.3	△ 83.3 △ 66.6
サービス業	△ 28.8 △ 43.4	△ 31.6 △ 40.5	△ 34.9 △ 46.9	△ 32.6 △ 34.8

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	22年7月～12月	23年1月～6月	23年7月～12月	24年1月～6月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業				
飲 食 業				
サ ー ビ ス 業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 △はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示



景 気 判 断 DI

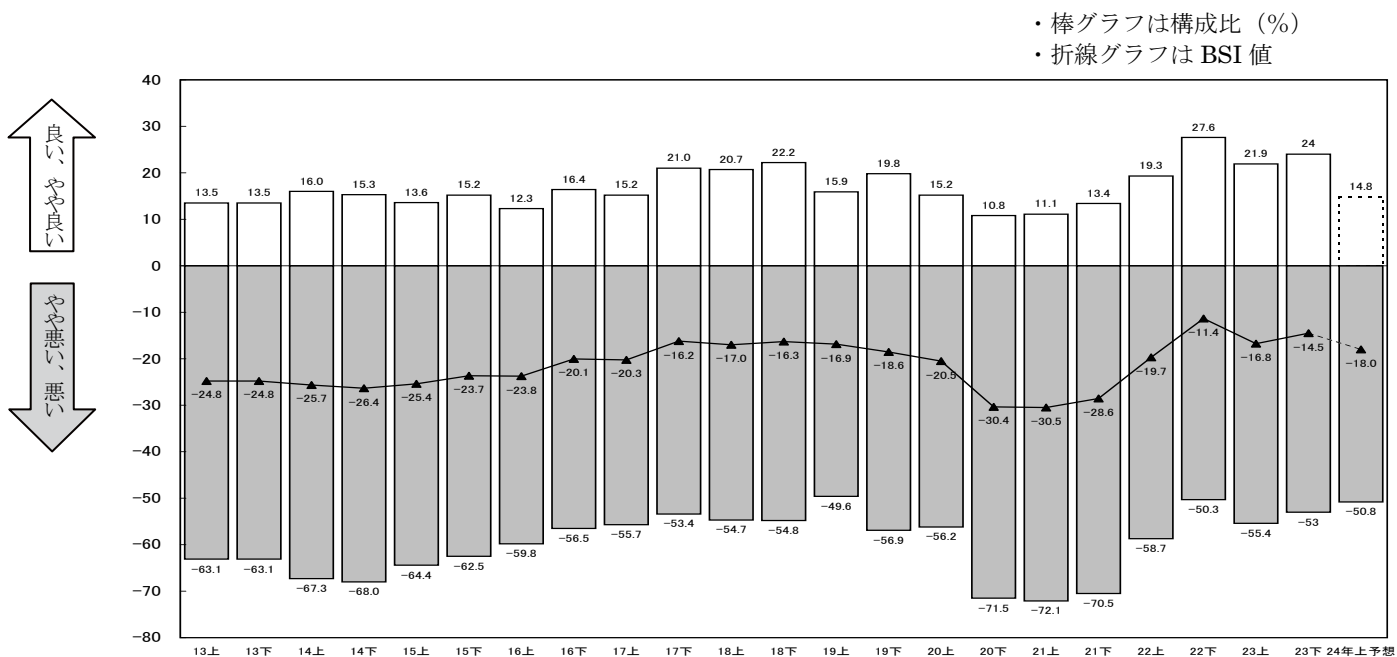
50以上100 25以上 0 以上 △25以上 △50以上 △100
50未満 25未満 0 未満 △25未満 △50未満

3. 売上の現状（図－3・4参照）

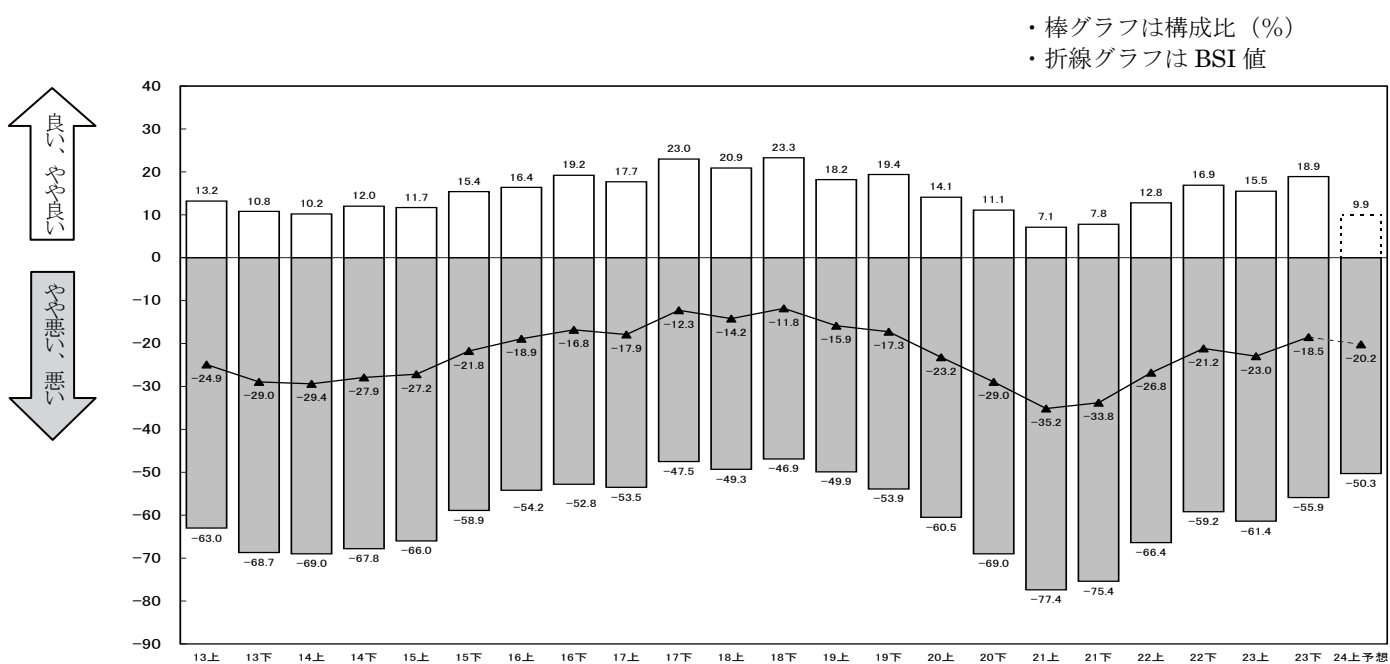
今期売上が増加した企業は全体で358企業中86企業24.0%（前期21.9%）、小規模企業では213企業中41企業19.3%（前期16.0%）。全体、小規模企業ともに改善を示している。

一方、今期売上が減少した企業は358企業中190企業53.0%（前期55.4%）、小規模企業では213企業中116企業54.4%（前期57.0%）。全体、小規模企業ともに小幅ながらも減少となった。

図－3 津地区の売上の現状と見通し



図－4 三重県下の売上の現状と見通し



4. 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断DIは△36.3と前期△37.1に比べ0.8ポイント上昇した。業種別で見ると製造業が△27.8と数値を下げたが、リーマンショック直後ほどの減少幅増加ではない。一方卸売業が28.9ポイント上昇と売上に続き利益でも改善を示した。小規模企業でも同様の動きである。

表－3 利益状況

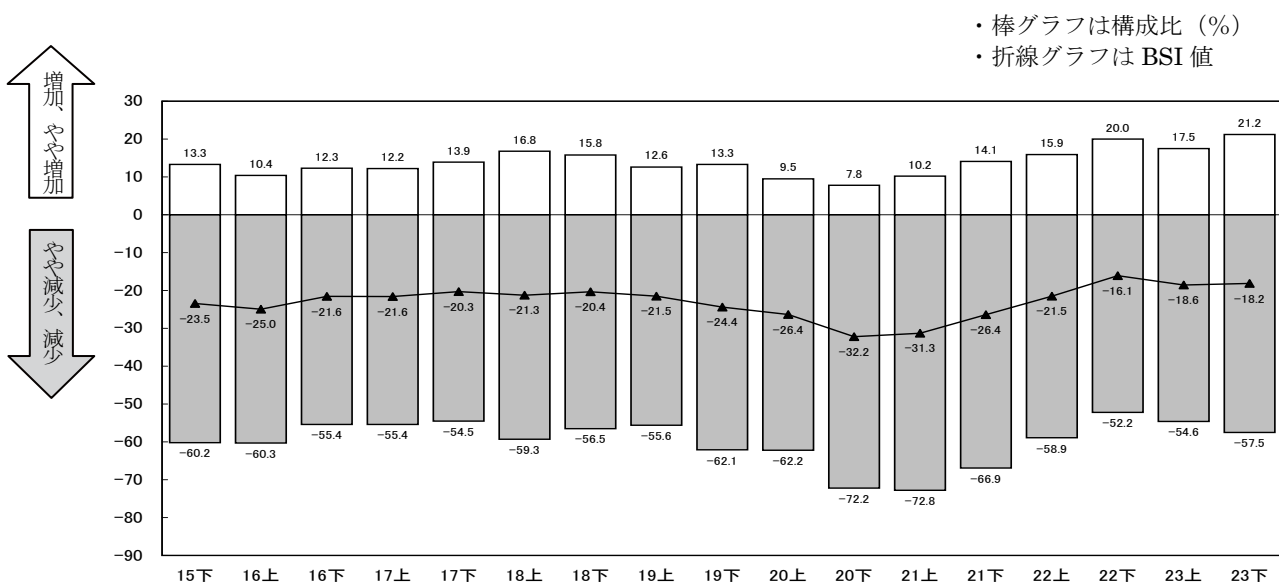
	実 績		
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全 産 業	△ 32.2 △ 40.9	△ 37.1 △ 44.0	△ 36.3 △ 41.8
製 造 業	△ 8.7 △ 26.7	△ 12.9 △ 38.5	△ 27.8 △ 36.4
建 設 業	△ 38.6 △ 42.2	△ 48.4 △ 46.2	△ 46.2 △ 48.3
卸 売 業	△ 29.3 △ 33.4	△ 41.7 △ 33.4	△ 12.8 △ 8.3
小 売 業	△ 41.9 △ 43.2	△ 44.7 △ 48.1	△ 38.2 △ 48.0
飲 食 業	△ 77.7 △ 100.0	△ 80.0 △ 71.4	△ 66.6 △ 33.4
サービス業	△ 41.4 △ 52.8	△ 34.3 △ 45.9	△ 37.1 △ 40.8

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図－5 利益状況



5. 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売条件判断DIは△30.7と前期△33.8に比べ3.1ポイント上昇となった。昨年同期の水準まで戻した形となった。業種別で見ると卸売業を除いてほぼ横ばいであるが、建設業では他業種より低い水準で推移している特徴があり、今回調査もその特徴は変わらず販売単価などの経営環境は厳しいことが伺える。小規模企業ではリーマンショック以降なだらかに回復傾向が続いており、回復幅は業種によりばらつきがある。

表－4 販売条件

	実 績		
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全産業	△ 28.1 △ 34.3	△ 33.8 △ 36.5	△ 30.7 △ 35.2
製造業	△ 20.4 △ 33.3	△ 31.5 △ 33.3	△ 26.6 △ 29.6
建設業	△ 39.7 △ 39.7	△ 37.1 △ 48.1	△ 46.2 △ 48.4
卸売業	△ 26.8 △ 16.6	△ 38.9 △ 16.7	△ 15.4 △ 33.3
小売業	△ 25.5 △ 32.4	△ 29.8 △ 33.3	△ 33.3 △ 44.0
飲食業	△ 22.2 △ 40.0	△ 70.0 △ 71.4	△ 33.3 0.0
サービス業	△ 39.3 △ 39.5	△ 29.0 △ 45.9	△ 28.2 △ 22.6

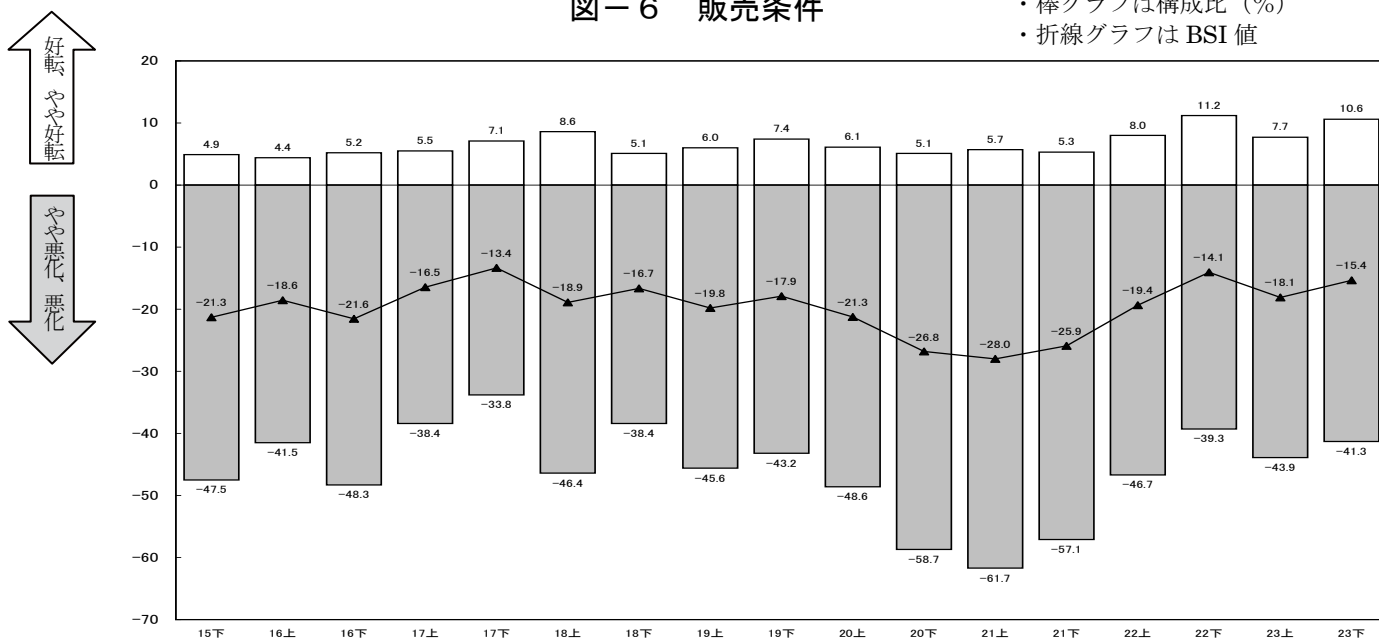
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段()内D I 値は小規模企業

図－6 販売条件

- ・棒グラフは構成比（%）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7 参照)

全産業の仕入状況判断DIは△27.7と前期△33.8に比べ6.1ポイント上昇となった。業種別で見ると卸売業で上昇を示しており、仕入でも好調さが伺える。小規模企業ではサービス業で21.5ポイント改善のほか、他業種では下降している。中でも卸売業は8.2ポイント下降で前述の中小企業とは逆の動きを示している。

表-5 仕入条件

	実 績		
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全産業	△ 24.2 △ 26.6	△ 33.8 △ 33.0	△ 27.7 △ 31.4
製造業	△ 25.2 △ 31.7	△ 31.5 △ 35.9	△ 34.2 △ 52.3
建設業	△ 22.7 △ 23.0	△ 37.1 △ 37.0	△ 29.8 △ 30.6
卸売業	△ 26.9 △ 16.6	△ 38.9 △ 33.4	△ 15.3 △ 41.6
小売業	△ 18.2 △ 24.3	△ 29.8 △ 22.2	△ 35.7 △ 32.0
飲食業	△ 55.5 △ 40.0	△ 70.0 △ 57.2	△ 16.7 △ 33.3
サービス業	△ 23.4 △ 32.0	△ 29.0 △ 37.8	△ 24.8 △ 16.3

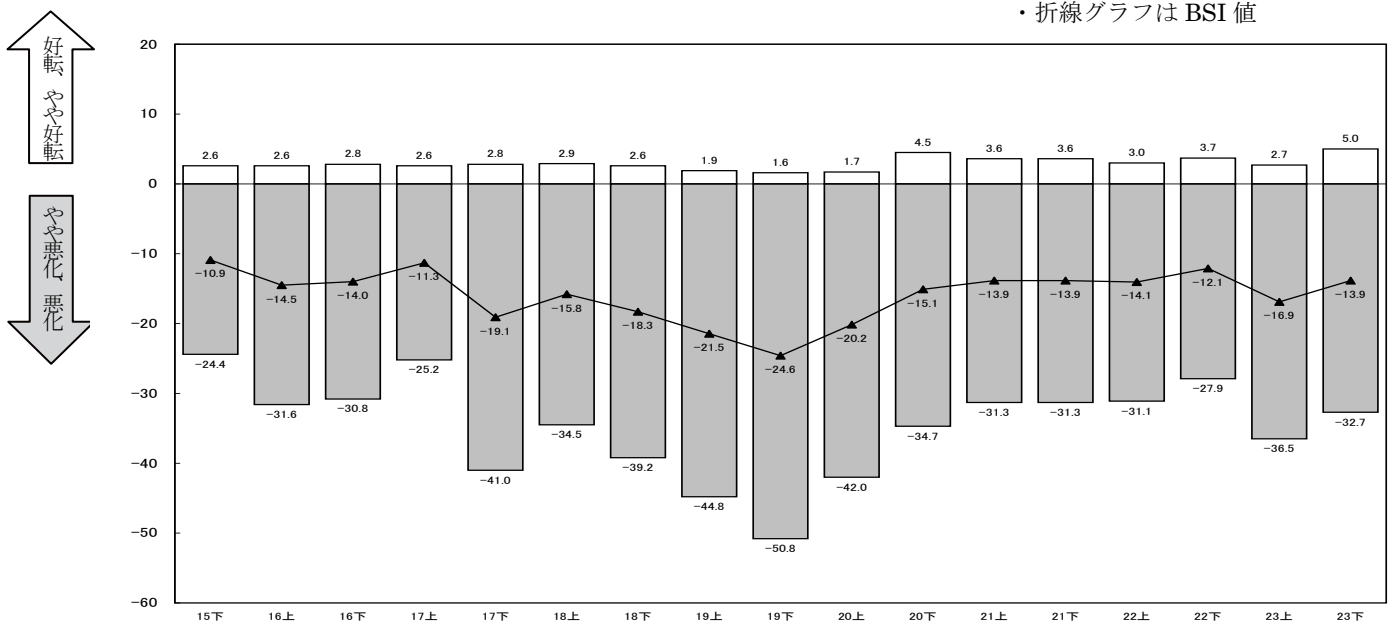
DI=好転(高い)の割合-悪化(低下)の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件

- ・棒グラフは構成比(%)
- ・折線グラフはBSI値



6. 設備投資（表－6参照）

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、358企業中90企業25.1%と前期22.3%と比べ、2.8ポイントの増加となった。業種別では多くの業種では横ばいとなったが、建設業は他業種より低い水準で推移しており低調な動きを示している。小規模企業では製造業が緩やか、かつ堅調に設備投資の割合を増やしている。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は358企業中85企業23.7%と今期実績値25.1%に比べほぼ同数値の見込となっている。業種別では卸売業がそれまで低調に推移していたが、若干計画を増やす見通しである。小規模企業では、製造業と同様にサービス業も他業種より設備投資が活発であるが、来期に関しても増加見通しである。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

	実 績			来期計画
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	26.7	22.3	25.1	23.7
	16.8	17.5	14.6	14.6
製 造 業	40.8	37.1	43.0	32.9
	26.7	28.2	29.5	18.2
建 設 業	14.8	14.5	10.4	9.0
	12.8	9.3	9.7	8.1
卸 売 業	24.4	16.7	17.9	23.1
	0.0	8.3	0.0	0.0
小 売 業	20.0	19.1	19.0	21.4
	10.8	7.4	4.0	4.0
飲 食 業	55.6	0.0	33.3	16.7
	40.0	0.0	33.3	0.0
サービス業	25.5	18.4	23.6	23.6
	20.8	24.3	20.4	26.5

※下段の値は小規模企業

7. 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

(1) 今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D Iは△21.3と前期△22.9に比べ1.6ポイントの改善となった。業種別では卸売業では堅調で「悪化」と答えた企業が減少した。他業種では小幅ながらも悪化と改善を繰り返している。また、小規模企業では流通業種である卸売業と小売業では小売業のあとを追うように卸売業が動いており注視が必要である。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは△25.4と今期実績値△21.3に比べ、4.1ポイント減少の見通しで、大幅な改善は見込まれていない。

表-7 資金繰り

	実 績			来期見通し
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期	24年1月～6月期
全 産 業	△ 19.6 △ 24.5	△ 22.9 △ 29.5	△ 21.3 △ 26.3	△ 25.4 △ 34.3
製 造 業	△ 15.6 △ 20.0	△ 20.0 △ 35.9	△ 15.2 △ 27.3	△ 24.0 △ 34.0
建 設 業	△ 28.3 △ 30.7	△ 17.7 △ 22.3	△ 23.9 △ 24.2	△ 31.4 △ 30.7
卸 売 業	△ 7.3 △ 16.7	△ 16.6 △ 8.4	△ 10.2 △ 33.4	△ 5.1 △ 25.0
小 売 業	△ 14.6 △ 16.2	△ 27.6 △ 29.6	△ 21.4 △ 24.0	△ 23.8 △ 36.0
飲 食 業	△ 44.4 △ 80.0	△ 70.0 △ 71.4	△ 50.0 △ 66.6	△ 66.6 △ 66.6
サービス業	△ 24.5 △ 26.4	△ 19.7 △ 35.1	△ 28.1 △ 28.5	△ 28.1 △ 38.8

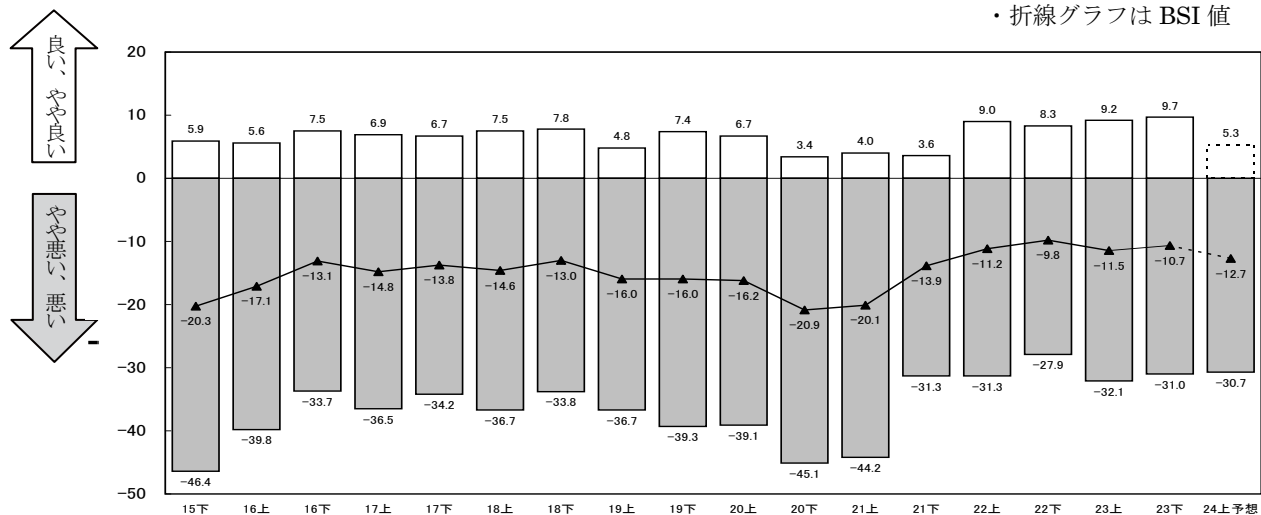
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し

- ・棒グラフは構成比 (%)
- ・折線グラフは BSI 値



8. 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DIは11.1と前期15.5に比べ4.4ポイントの悪化となった。しかし過去2年間では悪化と改善を繰り返しており、昨年同程度へ戻った形であると言える。業種別では、昨期下降幅が増した卸売業では今期は14.8と前回調査数値と同水準で留まっている。一方で建設業では昨年同期と比べると26.4ポイントも改善と借入を取り巻く環境は良くなっている。

表－8 借入の難易度

	実 績		
	22年7月～12月期	23年1月～6月期	23年7月～12月期
全産業	10.6 △ 2.4	15.5 9.2	11.1 2.2
製造業	20.0 9.4	28.5 23.6	14.3 0.0
建設業	△ 6.4 △ 7.3	6.2 △ 3.7	20.0 20.6
卸売業	30.8 0.0	18.2 0.0	14.8 △ 16.7
小売業	16.7 6.3	22.6 16.7	0.0 △ 33.3
飲食業	△ 20.0 △ 100.0	△ 25.0 △ 50.0	0.0 0.0
サービス業	△ 10.9 0.0	4.8 12.5	0.0 △ 12.5

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

△はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

9. 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は358企業中76企業で全体の21.2%、前期28.8%となり、借入希望は微減状況である。業種別で見ても、前回調査時にポイントを上げていたことから、今回調査では減少した業種がほとんどである。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は73.7%と前期68.0%と比べ増加している。ほとんどの業種で前回調査では、公的金融機関から借り入れるとした割合を増加させたが、今回は民間金融機関を希望する割合が増えており、借入先バランスの調整が伺える。

資金使途では運転資金は72.4%（前期71.1%）、設備資金26.3%（前期26.8%）となっており、前期では運転資金需要から設備資金へシフトが見られたが、今期では再び運転資金需要へと傾いている。

図-9-① 借入予定

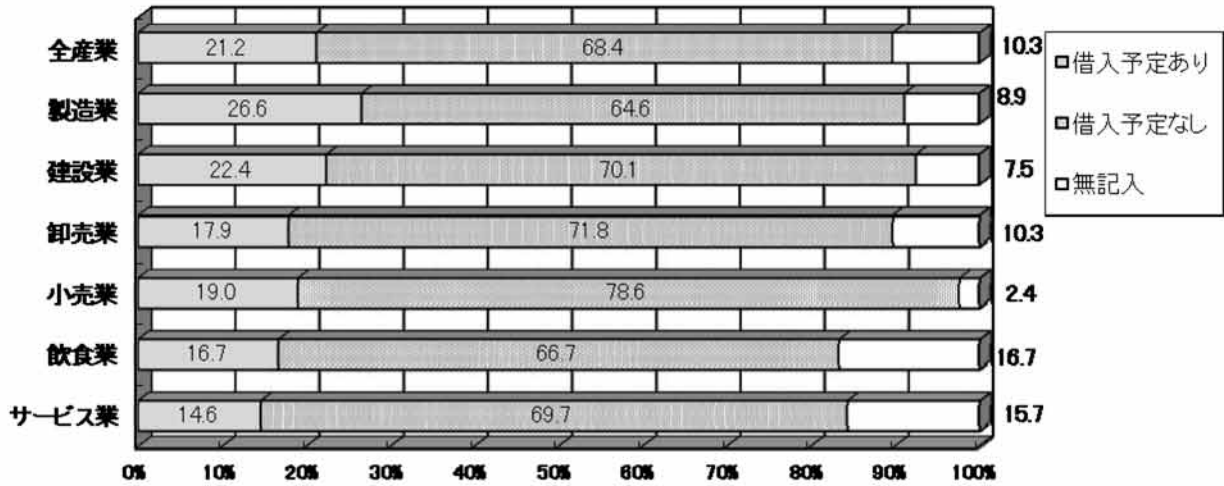


図-9-② 借入希望先

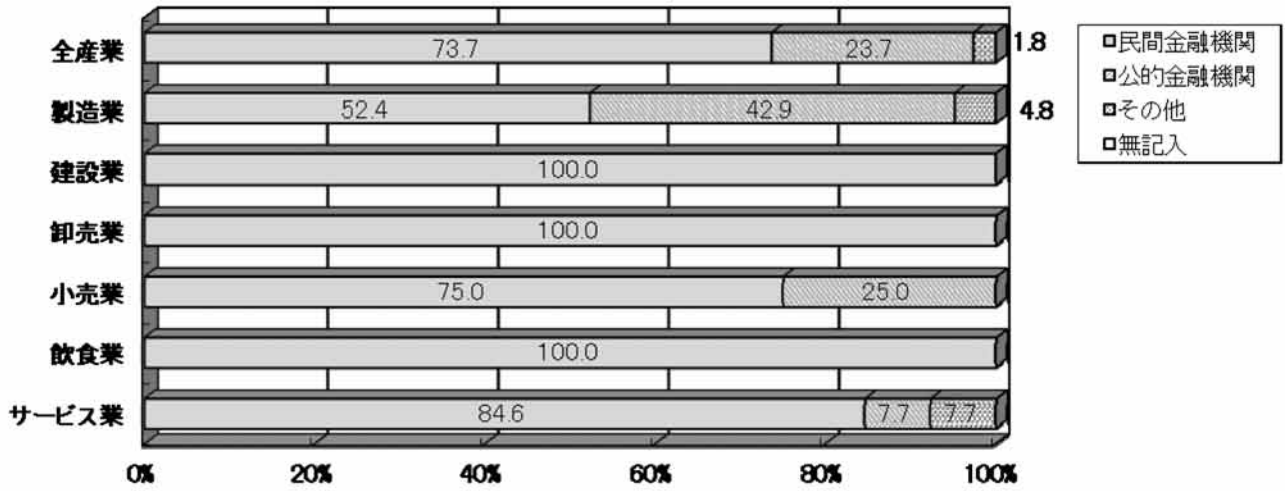
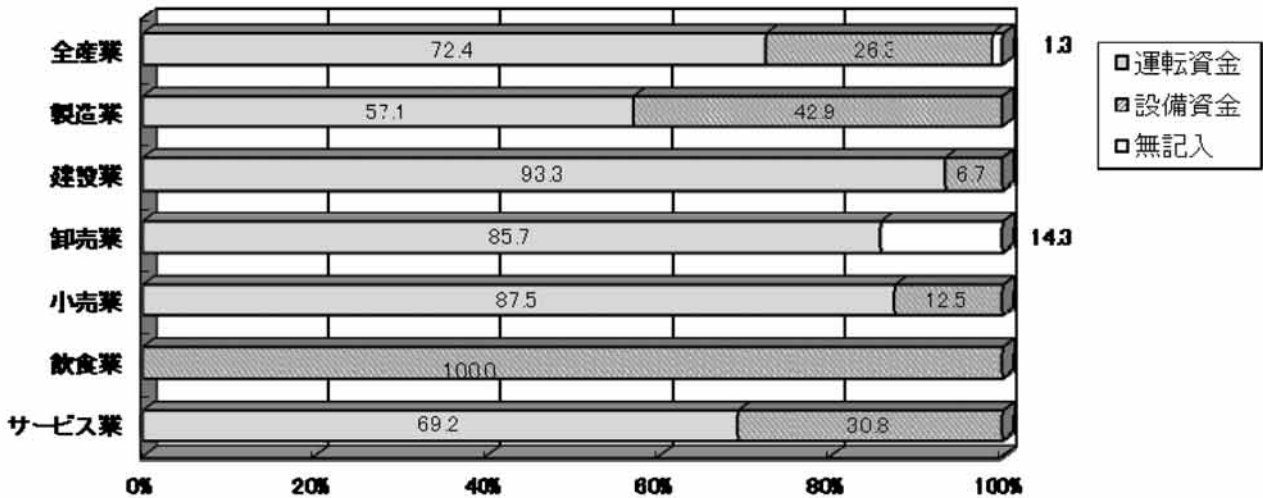


図-9-③ 借入資金の用途予定



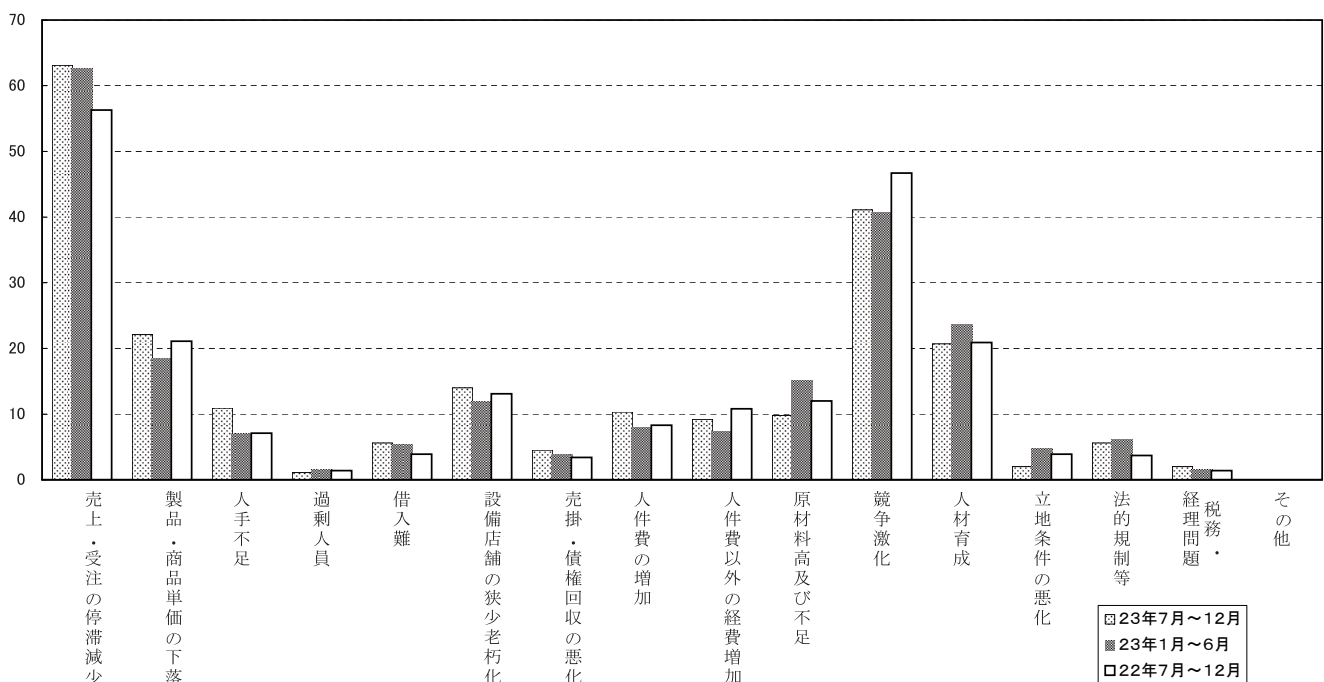
10. 経営上の問題点（3項目まで選択）（表－9、図－10 参照）

全産業の経営上の問題点は1・2位は18期連続で「売上・受注の停滞・減少」、「競争激化」となり、3位は前期に引き続き「製品・商品の単価の下落」となった。1位の「売上・受注の停滞・減少」は前期に続き増加となった。一方、2位の「競争激化」は前期と同水準という結果となった。

業種別で見ると全業種で、「売上・受注の停滞・減少」が1位となっている。前回調査では第3位に「人材育成」を挙げる企業が増加しそれまでより順位を高めたが、再び「競争激化」「製品・商品単価の下落」の割合が増えたため、順位を下げた。「原材料高及び不足」の項目で前回調査まで割合を増やしていたが、今回調査では落ち着きを見せている。一方、「人手不足」を問題点として示す企業が若干ではあるが増加している。

図－10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		23年1月～6月期			23年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産 業 別	全産業	売上・受注の 停滞減少 62.6	競争激化 40.7	人材育成 23.7	売上・受注の 停滞減少 63.1	競争激化 41.1	製品・商品 単価の下落 22.1
	製造業	売上・受注の 停滞減少 60.0	製品・商品 単価の下落 31.4	人材育成 30.0	売上・受注の 停滞減少 62.0	競争激化 40.5	製品・商品 単価の下落 40.5
	建設業	売上・受注の 停滞減少 74.2	競争激化 59.7	製品・商品 単価の下落 25.8	売上・受注の 停滞減少 77.6	競争激化 61.2	製品・商品 単価の下落 13.4
	卸売業	売上・受注の 停滞減少 51.2	競争激化 61.1	製品・商品 単価の下落 19.4	売上・受注の 停滞減少 56.4	競争激化 46.2	人材育成 30.8
	小売業	売上・受注の 停滞減少 61.7	競争激化 27.7	人材育成 23.4	売上・受注の 停滞減少 66.7	競争激化 42.9	製品・商品 単価の下落 33.3
	飲食業	売上・受注の 停滞減少 60.0	原材料高 及び不足 40.0	立地条件 の悪化 40.0	売上・受注の 停滞減少 83.3	人手不足 50.0	原材料高 及び不足 33.3
	サービス業	売上・受注の 停滞減少 53.9	競争激化 39.5	製品・商品 単価の下落 35.5	売上・受注の 停滞減少 55.1	競争激化 36.0	人材育成 22.5

津地区企業の景況調査票

津商工会議所・中小企業相談所

平成24年1月

7. 利益状況について…平成23年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	----------	---------	-------

8. 販売状況(単価・決済方法)について…平成23年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
-------	---------	----------	---------	-------

9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成23年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. 仕入なし
-------	---------	----------	---------	-------	---------

10. 設備投資について

23年7～12月の実績		↑	24年1～6月の予定	
1. 行った	2. 行わない		1. 予定あり	2. 予定なし

11. 資金繰りの現状について…平成23年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化
-------	---------	----------	---------	-------

12. 資金繰りの見通しについて…平成24年1～6月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好転	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪化	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	----------

13. 借入の現状について…平成23年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

14. 借入予定はどうか…(平成24年1～6月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他困っている問題・ご意見等があればご記入下さい。

()

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

I. 企業の概要

1. 業種(主たるもの1つ)

10.11	〈製造業〉	1. 食料品	2. 繊維品	3. 機械製品	4. 金属製品	5. 木材木製品
		6. 化学製品	7. 土石業	8. 印刷・出版	9. その他	
	〈建設業〉	10. 土木工事	11. 建築工事	12. その他		
	〈卸売業〉	13. 食料品	14. 繊維・身の回り品	15. その他		
	〈小売業〉	16. 繊維・身の回り品	17. 食料品	18. 家具・日用品	19. 電気製品	20. その他
	〈飲食業〉	21. 飲食店				
	〈サービス業〉	22. 美容・理容	23. ホテル・旅館	24. 自動車整備	25. 不動産	26. その他
	〈交通運輸業〉	27. 交通運輸	〈その他〉	28. その他		

2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について

1. 良	2. やや良	3. まずま	4. やや悪	5. 悪
------	--------	--------	--------	------

4. 今後の見通しについてどう思いますか。

1. 良	2. やや良	3. まずま	4. やや悪	5. 悪	6. わからない
------	--------	--------	--------	------	----------

5. 売上状況について…平成23年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少
-------	---------	----------	---------	-------

6. 売上の見通しについて…平成24年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増加	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減少	6. わからない
-------	---------	----------	---------	-------	----------

津地区の小規模企業景況 No.59

平成24年3月発行

■ 編集 津商工会議所・中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内29-14

TEL 228-9141 FAX 228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1347-1

TEL 255-2343 FAX 256-3665